

新人理学療法士募集！！

やる気のある方！大歓迎！！

膝関節鏡視下手術、人工膝関節置換術、前十字靭帯再建術などの術後の理学療法や様々なスポーツ障害に対する治療を行っています。手術から自宅復帰、スポーツ復帰まで継続的に理学療法を実施しています。あなたの**熱意**を活かしてみませんか？

TEL 0943-32-1213

担当 池田

リハビリ部部長 理学療法士 池田（H18年卒業）

当クリニックでは、一つの分野を追求して勉強し、常に最新の情報をアップデートしていく必要があります。

そのために必要なことは、まず多くの患者さんを診ていくことです。触った分だけ得るものがあり、指先に感じ取れる何かがあります。日々、同期よりも一人でも多く患者さんを診る、先輩の治療を診る、そんな熱意が必要です。与えられる仕事が同期よりも多く、自分だけが忙しい・・・、友達と話す自分だけがきつい思いをしている・・・、そのように考えるような人は、当クリニックには向いていません。“させられている”という受け身ではなく、“やるんだ”という自主性を持っている方に入職して頂きたいと思います。

日々の意欲、頑張りが認められれば、様々なチャンスがあります。

私自身、海外研修で韓国、ニューヨークの施設見学へ、国内の学会、大学病院の施設・手術見学などへ参加させて頂き、外の世界を見ることで見えてくるものが数多くあり、自身の刺激となりました。日本で、世界で名が知られている方々は、並々ならぬ努力をされ、実際にそのような方と会い、話をさせて頂く機会もありました。また、フルマラソンやスキーなどスポーツを行う機会もあります。自身、人生でフルマラソンに参加するとは思いませんでしたが、42.195km 走り終えた時の達成感は何とも言えませんでした。

今後、理学療法士の世界は厳しい現状が待ち受けています。年々、給与も減額されてきています。理

学療法士としてあるべき姿、生き残っていくために必要なことは、誰にも負けないくらいの日々の努力です。当クリニックでは同期であっても能力差によって給与にも差が生じてきます。

目先のことだけでなく、将来のビジョンを思い描き、「今」やらなければならないこと、犠牲にすべきこと、、、考えて行動していく必要があります。

当クリニックでは普通の理学療法士は求めています。プロフェッショナルな理学療法士を求めています。

スキルアップ

2013年1月	スイス人工関節学会 参加
2012年12月	ホノルルマラソン完走
2012年9月	医療法人アレックス創立10周年記念学会および祝賀会参加
2012年9月	第38回日本整形外科スポーツ医学会集会 in 横浜 参加
2012年5月	ニューヨーク（アメリカ）医療交流会 参加
2012年3月	第38回九州膝関節研究会 参加
2012年2月	北海道大学病院スポーツ医学診療科 研修
2012年2月	第42回日本人工関節学会 in 沖縄 参加
2010年2月	ソウル・麗水（韓国）医療交流会 参加
2009年2月	ホノルルマラソン完走

スポーツ部部长 理学療法士 渡辺（H19年卒業）

今年で入職して4年目、理学療法士として6年目になります。当院は「広川でも最新医療の提供を!!」という理念に基づいて仕事を行っています。そのためには、日常のリハビリテーション業務以外でもやるべき事がたくさんあります。

私は、生え抜きではなかったため、生え抜きスタッフや、私が入職以前から働いているスタッフに追いつくことから始まりました。そのため、毎晩深夜を回るまで勉強しました。また、入職して1週間目に英文誦読、4ヵ月目、1年目に、学会発表を経験しました。学会発表は2年目も3年目もさせていただいています。学会以外にも、院内勉強会で発表することもあるため、休日返上で勉強しなくてはならないことも何度もありました。

勉強以外にも、医師や他部署のスタッフと交流を図るために、マラソンやバドミントンに参加しなければなりません。

頑張り続ける事によって、海外研修やプロスポーツ選手の自主トレに帯同するチャンスがいただけます。ただし、研修や帯同に参加するためには、準備が必要であり、帰って来てからはしっかりとクリニックに還元出来るように報告会をしなければいけません。また、病院を休んで参加する分けです

から、その後、休みはほとんどとれません。

給与に関しては、日本の理学療法士の平均よりもいただいておりますが、プライベートはほとんどありません。

当院は、本気で理学療法士をやってみようと考えている方を募集します。プライベートを犠牲にしても、生き残っていきたくと考えている方、上を目指そうと考えている方、大歓迎です。

スキルアップ

2012年11月 韓国医療交流会

2012年11月 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会 参加発表

『前十字靭帯再建術後患者の足底圧位置の変化』

2012年9月 整形外科リハビリテーション学会 第21回学術集会 in 名古屋 発表

『両側同時前十字靭帯再々建術を施行した1例』

2012年7月 アリゾナ（アメリカ）医療交流会 参加

2012年7月 松田丈志選手ロンドンオリンピック激励会 参加

2012年6月 城北高校女子ハンドボール部 九州大会帯同

2012年3月 第38回九州膝関節研究会 参加

2011年11月 第22回臨床スポーツ医学会発表

『両側同時ACL再建術を施行した3例』

2011年2月 松田丈志選手 第31回九州カップ水泳競技大会帯同

2011年1月 プロ野球宮崎合同自主トレ 参加

2011年1月 ソフトバンク本多雄一選手 嬉野自主トレ 帯同

2011年1月 松田丈志選手 鹿屋合同自主トレ帯同

2011年 ソフトバンクホークス城所選手、福田選手コンディショニング担当

2010年11月 第21回 日本臨床スポーツ医学会学術集会発表

『前十字靭帯再建術後における通院頻度が筋力回復におよぼす影響』

2010年9月 松田丈志選手 宮崎合宿 帯同

2010年8月 ピッツバーグ（アメリカ）トレーナー研修

2010年5月 祐誠高校バスケットボール部 九州大会決勝帯同

2010年4月 第22回 福岡県肩・膝学会発表

2009年12月 ホノルルマラソン完走

2009年8月 第21回福岡県肩・膝リハビリ研究会 発表

『Stylexの使用経験』

スポーツ部 副部長 理学療法士 中畑 (H20 年卒業)

こんにちは、理学療法士 4 年目の中畑です。

当院ではやる気のある理学療法士の方を募集しております。

現在の日本の理学療法士の数は年々急増しており、世界でもトップクラスの人口比になってきています。そんな中、整形外科、スポーツの分野で突出したい、その分野の勉強をしたいと思われる方はぜひご応募頂けたら幸いです。

拘束時間が長いこと（日が変わることも）や毎週勉強会があること、全職員の前でプレゼンを行うこと、毎度渡された英語論文を日本語訳してプレゼンをすること、毎朝早く来て勉強すること、毎年学会で発表しなければいけないこと、バトミントンやマラソンなどのスポーツに参加しなければいけないこと、しばらく休みがないことなどきついことが多くありますが、手術見学をはじめ、日本や海外の病院・施設見学やプロスポーツ選手と関われるチャンスなど他の施設ではできないようなこともあります。実際、私はこれまで 2 回アメリカの病院・クリニックの見学に行かせて頂き、プロ野球選手のコンディショニングもさせて頂きました。

アメリカの医療を見てみたいと思われる方やスポーツ選手と関わりたいと思われる方は多くいると思います。

やる気のある方は大歓迎です！！いつでもお待ち致しております。

スキルアップ

2012 年 12 月 九州・山口臨床スポーツ医学会

『前十字靭帯遺残組織の温存が再建術後早期の proprioception に与える影響』

2012 年 11 月 第 34 回 理学療法士・作業療法士合同学会 参加発表

『反重力トレッドミル使用の有無が TKA 術後早期の

歩行速度に与える影響について』

2012 年 11 月 第 23 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会 参加発表

『当院における前十字靭帯再建術後再断裂とその要因について』

2012 年 10 月 第 3 回ヴィンテージバレーボール 8' s 交流大会 帯同

2012 年 9 月 第 38 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 in 横浜 参加

2012 年 7 月 第 2 回インターナショナルスポーツメディスンセミナー 参加

2012 年 3 月 第 38 回九州膝関節研究会 参加

2012 年 2 月 Medical Tribune に臨床学会での発表が掲載

2011 年 11 月 第 2 回ヴィンテージ 8' s バレーボール交流大会 チーム帯同

2011 年 11 月 第 22 回臨床スポーツ医学会学術集会 in 青森発表

『前十字靭帯再建術後患者における長期的スポーツ継続状況について』

2011 年 6 月 アリゾナ（アメリカ）医療交流会 参加

2011 年 2 月 大川マラソン参加

2010年 ソフトバンクホークス福田選手のコンディショニング担当

2010年12月 ホノルルマラソン完走

2010年11月 第21回臨床スポーツ医学学会

『前十字靭帯再建術後患者における早期復帰希望の有無が筋力回復へ与える影響』

2010年10月 ソルトレイク（アメリカ）医療交流会 参加

2010年10月 第3回 Meeting of Current Topics about Knee Joint(MCTK)にて発表

2010年6月 淵野辺総合病院研修

2010年2月 出水ツルマラソン完走

2010年1月 筑後Ⅱ地区症例発表会

『受傷機転の違いが前十字靭帯再建術後の筋力回復へ及ぼす影響』

理学療法士 長谷（H21年卒業）

当院での理学療法士の仕事はリハビリテーション以外にも色々あります。手術前後のインフォームド・コンセントや担当患者の手術見学などあります。勉強会では、レントゲンやMRIカンファレンス、全スタッフ参加の勉強会、学会発表、英語論文のプレゼン、各々の委員会活動があります。また、スポーツ部の活動もバドミントンやマラソン等色々ありますので、帰宅する時間も翌日になることもほぼ毎日続きます。正直プライベートの時間もほとんどありません。毎日忙しい日々を送っていますが、毎年年末になってその年を振り返ると充実感を得る事があります。このような経験は、新人の頃から身に付ける事で将来の土台作りとも私は考えています。私は、これまでに様々な貴重な経験もさせて頂いています。プロ野球選手や日本代表競泳選手のコンディショニングや国内外への帯同、国内の病院や国立スポーツ科学センターの見学、学会の参加、トレーナー研修会、フルマラソンやbike new yorkといった普段経験出来ないようなことも経験させて頂きました。こういったチャンスもありますし、経験することで、モチベーションも上がります。そして、自分のキャリアとして、一生残るものだと思います。

膝の障害、スポーツ障害について極めたい方はベストな環境だと思っておりますので、入社した際は同じ方向性に向かって、一緒に良いものを築き上げていきましょう。

スキルアップ

2013年1月 スキー・スノーボード研修(1班)

2012年12月 九州・山口臨床スポーツ医学会

『前十字靭帯再建術後動画指導導入前後の再断裂の比較』

2012年11月 第34回 理学療法士・作業療法士合同学会 参加発表

『前十字靭帯損傷から再建術までの期間について』

2012年9月	第38回日本整形外科スポーツ医学会集会 in 横浜参加
2012年7月	松田丈志選手ロンドンオリンピック激励会参加
2012年7月	第2回インターナショナルスポーツメディスンセミナー参加
2012年5月	Bike ニューヨーク（レース編・観光編）
2012年2月	第42回日本人工関節学会 in 沖縄 参加
2011年12月	ホノルルマラソン完走
2011年11月	松田丈志選手 FINA ワールドカップ 帯同
2011年10月	山口国体 2011 松田丈志選手率いる宮崎競泳チーム 帯同
2011年9月	松田丈志選手 アメリカ合宿 帯同 （オープニング・トレーニング・コンディショニング）
2011年9月	国立スポーツ科学センター（JISS）見学
2011年6月	大室整形外科脊椎・関節クリニック研修
2011年	Office.O（ソフトバンクホークス）コンディショニング研修
2011年3月	筑後2地区症例発表会 『膝関節鏡視下半月板切除後に骨壊死様病変を呈した症例』
2011年1月	プロ野球宮崎合同自主トレ 参加

理学療法士 平石（H22年卒業）

当院は膝関節障害やスポーツ障害を中心に診療や手術、またリハビリテーションを行っている急性期医療を主としたクリニックです。

江本院長をはじめ湯朝副院長、張整形外科部長ら膝関節分野を専門としたドクターらの下、優れた環境下で医療行為を行わせて頂いており、責任感をもって誠実な医療行為を行っていくことの難しさや充実感などを日々感じており、ここに大きなやりがいを感じているのが僕自身の率直な感想です。最先端の医療サービスを提供して行くといった観点をもとに医療従事者として過ごしていくのであれば、当院のような環境は最良だと感じております。

私は理学療法士として当院に勤務し始めてまだ1年しか経過していませんが、すでに海外研修や学会発表などの機会を頂きました。現在における競争社会の中で特色ある存在となるためには、ここでの経験は自身を高める大きな経験値となり、財産になると考えます。その他にも普通ではなかなか経験できないようなことを経験させて頂く機会が多いです。ただ、機会を頂くためには当然相応の努力が必要となります。朝は早くから、夜遅くまで業務に勉強にとプライベートな時間はほとんどありませんが、医療従事者として患者さんと関わって行くのであれば当然のことだと、院長らは常に私達に語りかけて下さいます。肉体的にも身体的にもきついと思えばきついでしょう。ただそんな中でも、

私達と一緒に世界水準の理学療法を提供すべく頑張れる方の応募をお待ちしています。ジェネラリストではなく、スペシャリストを目指して一緒に頑張りましょう！

スキルアップ

2012年12月　　ホノルルマラソン完走

2012年11月　　韓国医療交流会

2012年9月　　第38回筑後Ⅱ地区症例発表会

『全人工膝関節形成術後症例に対する反重カトレッドミル

Alter-Gを用いたリハビリテーションの取り組み』

2012年7月　　アリゾナ（アメリカ）医療交流会 参加

2012年6月　　佐賀県高校総合体育大会サッカー競技 チームトレーナー帯同